盛工同窓会だより報

題字指毫／吉田昭夫同窓会長

広げよう 感動。伝えよう 感謝。

2016 希望郷 いわて国体
2016 希望郷 いわて大会

いわて国体で本校生徒・OBが 代表選手として大活躍 !!

出所「岩手日報 平成28年10月10日付朝刊」

（C科3年　藤原崇成　第5位・右側）

出所「岩手日報 平成28年10月11日付朝刊」

（Ch科平成20年度卒　横澤　徹　第3位）

出所「岩手日報 平成28年10月2日付号外」

（ME科平成21年度卒　内村湧嬉　優勝）

出所「岩手日報 平成28年10月5日付朝刊」

（AD科3年　大坊直輝　第8位・右側）

出所「岩手日報 平成28年10月9日付朝刊」

（C科2年　千葉元太　第7位）

出所「岩手日報 平成28年10月9日付朝刊」

（C科平成15年度卒　伊藤拓也　第3位）

出所「岩手日報 平成28年10月24日付朝刊」

（Ch科昭和54年度卒　猪狩耕一　優勝）

次期総会のお知らせ

平成29年度　盛工同窓会・体育後援会総会

期　日：平成29年7月1日（土）
と　き：午後6時～
ところ：ホテルメトロポリタン盛岡・本館

是非ご参加下さい

毎年7月第一土曜日に開催

【発行】平成28年12月1日【発行所】〒020-0841 岩手県盛岡市羽場18-11-1【電話・FAX】019(639)5436 盛岡工業高等学校百年館内盛工同窓会

「想定外」の（自助）について思うこと

同窓会長
吉田　昭夫

盛工同窓会の皆さん、日頃は同窓会活動に御理解と協力いただき心より御礼申し上げます。

母校在学生はいま、現校長先生の持論であります時代に即応した教育現場の在り方として、「質実剛健」の校訓のもと「文武両道」を旨とし「挑戦」「創造」「変化」の指導方針を揚げ、県下テクニカルセンタースクールとしての更なるリード校を目指していると聞いています。何と素晴らしいことではありませんか。

さて皆さん、戦後七十年余、一千年来といわれる想像を絶する東日本大震災が発生し、日本経済に大きい衝撃を与え、そしてかつてない一万八千五百人余に及ぶ犠牲者が発生しました。いま発生から五年余、復興再建に余念がないところです。このような異常なまでの災害が発生した以降、「想定外」だからという言葉が多聞されています。いま日本列島は間断なく異常なまでの自然災害（地震、火山噴火、津波、豪雨…）が発生しています。また今後東京直下、東南海トラフ地震など…が想定されています。熟慮を重ねても「想定」を超える事態は必ず起きます。いま大事なのは、この事は当事者だけの責任ではなく、むしろ不毛の議論よりも、合理的議論（科学、技術、コストそして社会性など）を重ね、合意形成していくことが大事だと思います。

かつて東日本大震災において「想定外」の状況においても、対応する力を発揮し、99・8％が生き残った釜石市の小・中学校生は教育によって命を自ら守る力を養っていた事実、このことは忘れてはなりません。これは正に（自助）の力なのです。

御挨拶

体育後援会長
白根　敬介

このたび、平成28年度7月の盛岡工業高等学校同窓会総会において体育後援会会長に就任をいたしました白根敬介でございます。まずもって、前任の小川久太郎さんには15年余の長きに渡り体育後援会会長として、母校の文化・スポーツの発展に多大な貢献をされ今日の体育後援会の礎を築かれましたことに心より感謝を申し上げ敬意を表するものでございます。

小川前会長の後任として、年余の歴史と伝統を誇る盛岡工業高等学校の体育後援会会長をお引き受けすることになり大変光栄に存じていると共に、身の引き締まる思いでございます。本年10月には第71回の国民体育大会いわて国体が開催され岩手県選手団の活躍でスポーツに対する関心が大いに高まったところであります。

今後、２０１９年ラグビーワールドカップ釜石での開催、そして２０２０年東京オリンピック・パラリンピックに向けてスポーツに対しての関心がさらに高まってくるものと存じます。この様な状況の中で、母校の文化・スポーツの更なる発展がかかせないものと思います。在校生はもとより卒業生・ＰＴＡ・各部指導者等十分に連携を図りながら、施設の整備、人材の育成等行い、日頃の練習の成果を十分発揮できるよう、環境を整えて行かなければならないと考えております。

今後、体育後援会参与に就任を頂きました小川前会長のご指導を頂きながら母校の更なる発展に努めてまいりたいと存じますので、関係各位のご支援ご協力をお願い申し上げ就任の挨拶と致します。

御挨拶

校長
眞岩　一夫

同窓会会員の皆様には益々御清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対し、物心両面から御支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

今年度も昨年度に引き続き盛工生が獲得を目指す力として「挑戦する力」「創造する力」「変化する力」の三つを掲げ教育活動を進めております。生徒たちがどんなことに挑戦しどんな結果を残すのか大いに期待していたところでしたが、部活動でたくさんの成果を挙げてくれています。詳細は部活動報告のページに委ねますが、4月3日に、ラグビー部が全国選抜大会で勝利を収めたのを皮切りに、運動部、文化部とも活躍が目立ちました。野球部は、夏の大会で花巻東高校に勝利し、大きな夢を持たせてくれました。いわて国体でも本校生徒そして卒業生が日ごろの練習の成果を遺憾なく発揮し、総合2位に貢献しました。

3年生は、現在就職内定を順調に決めているほか、岩手大学等の国公立大学にも合格者を出し、文武両面での努力が成果として出ているところです。

7月には、2年後の１２０周年記念事業に向け、準備委員会を立ち上げていただきました。同窓会の皆様には、さまざま御協力をいただくことになりますが、母校の発展のためよろしくお願いいたします。学校といたしましても、これまでの長い歴史の上に立ち、大輪の花を咲かすべく教育に勤しんでまいります。

皆様の今後ますますの御健勝と御活躍を祈念し、挨拶とさせていただきます。

同窓会事業

（同窓会事業）
- H28・4・8　平成28年度入学式（279名）
- 4・11　同窓会・体育後援会会計監査（盛工百年館）
- 4・23　同窓会・体育後援会役員会（サンセール盛岡）
- 7・2　同窓会・体育後援会総会（ホテルメトロポリタン盛岡本館）
- 11・22　同窓会・科支部事務局長会議（盛工百年館）
- H29・2・27　同窓会報66号発行
- 2・28　同窓会入会式（記念品贈呈）定時制
- 3・1　同窓会入会式（記念品贈呈）全日制
- 平成28年度卒業式

（体育後援会事業）
- H28・4・23　同窓会・体育後援会役員会（サンセール盛岡）
- 4・27　第1回体育後援会費強化費配分（5月連休合宿、遠征ほか）
- 7・2　同窓会・体育後援会総会（ホテルメトロポリタン盛岡本館）
- 6・24　全国大会出場選手激励会・激励金配分
- 7・22　第2回体育後援会費強化費配分（夏休み合宿、遠征ほか）
- 9・15　国体出場激励金、全国大会激励金配分
- 10・5　全国大会激励金配分
- H29・1・　国体出場激励金配分

（科・支部活動）
- H28・5・11　紫工会（学校同窓職員）総会
- 7・8　寿広支部総会（寿広園）
- 8・11　桐友会（普通科）総会（ホテルメトロポリタン盛岡）
- 8・20　桜化会（工業化学科）総会（エスポワールいわて）
- 9・3　機友会（機械科）総会（ホテルルイズ）
- 9・10　E友会（電気科）総会（サンセール盛岡）
- 9・25　東京支部総会（ホテル・ラングウッド）
- 10・21　仙台支部総会（ホテルJALシティ仙台）
- 11・18　擬宝珠会（土木科）総会（ホテルメトロポリタン盛岡）
- 11・25　花巻支部総会（ホテル花城）
- H29・1・　盛岡市役所支部総会
- 2・　盛岡広域消防支部総会（三寿司総本店）
- 3・2　二日会（建築科）総会（コミュニケーションギャラリーリオ）

平成二十八年度盛工同窓会・体育後援会総会

今年度の総会は、七四名の方々に出席をしていただき無事終了することができました。

最初に同窓会長から、総会に幅広く同窓生の皆さんが気軽に参加できるような工夫をしようということや、眞岩校長の祝辞では、百二十周年に向けて大きな華を咲かせるために、「達成したい」という希望的観測では駄目で「達成します」と言うぐらいの気概が無いと目標に到達することはできないというお話しをしていただき、今後の同窓会の活動に力強い方向性と活力をいただくことができました。

続いて、議長に藤原梅昭氏（機械科Ｓ44年卒）を選出し議事に入りました。はじめに、平成二十七年度事業報告では、総会をはじめ同窓会入会式、部活動の充実を図るための補助事業や体育後援会事業としての強化・激励に関する件、そして各科・支部活動を報告し、決算と合わせて承認をいただきました。続いて、平成二十八年度事業計画（案）並びに予算（案）、二十八・二十九年度役員（案）について審議をいただき、原案のとおり可決されました。

懇親会では、最初に本校吹奏楽部のアトラクションで応援歌や応援団節、校歌などが披露され、参加した方々からもすばらしい演奏のアトラクションだったと好評でした。そして、会は同窓会長のご挨拶後、春の褒章・叙勲の表彰を受けられた菊池捷之様（普通科Ｓ39年卒）に、会長より記念品を贈りお祝いをさせていただきました。続いて乾杯の音頭を、今年度でご勇退される小川体育後援会長より、熱い本校への思いを込めたメッセージをいただきました。

和やかで楽しい懇親会は、あっという間に過ぎ、本校職員の吉田大地（土木科Ｈ22年卒）と稲生太貴（電子機械科Ｈ24年卒）がエール並びに校歌を高らかに斉唱し、無事に終了することができました。

現在、同窓会事務局では二年後の創立百二十周年に向けて、各科の事務局長会議を開催し、若い世代の同窓生の参加や各支部の総会の持ち方などについてご意見をいただきながら進めている所です。

最後に、引き続き同窓生の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

体育後援会長　小川久太郎氏（建築31年卒）ありがとうございました

母校および同窓会発展のために多大なるご尽力をされてきた、小川久太郎氏が今年の総会を最後にご勇退されました。

平成12年4月から16年間、体育後援会会長として自ら先頭に立ち、大きな柱となって貢献されてきました。

長い間ありがとうございました。

期日　平成二十八年七月二日（土）
場所　ホテルメトロポリタン盛岡本館

栄えある受章おめでとうございます

（平成二十八年　春の叙勲）
瑞宝双光章
第26回危険業務従事者　叙勲

菊池　捷之 氏
普通科第13回生
昭和39年卒

略歴
- 昭和39年3月　盛岡工業高等学校普通科卒業
- 昭和39年4月　岩手県警察官採用
- 平成18年3月　定年退職
- 平成18年4月　公益財団法人岩手県暴力団追放推進センター　採用
- 平成23年3月　定年退職
- 平成24年3月　行政書士事務所開設
- 現在に至る

警察官採用以来、勤続42年間のうち、40年間を刑事警察部門で勤務、現在は、行政書士として業務する一方、公営財団法人日本警察犬協会の特別審査員として警察犬の審査にも従事している。

平成27年度　同窓会会計決算書

一般会計　平成27年4月1日～平成28年3月31日

収入の部　△は対予算減収　（単位：円）

項目	本年度予算額（A）	本年度決算額（B）	比較増減（B－A）	摘要
繰越金	2,440,198	2,440,198	0	
年会費	1,900,000	2,129,420	229,420	年会費 3,000円
同窓会基金	11,880,000	11,833,500	△ 46,500	在校生より
雑収入	50,000	64,538	14,538	会員名簿・利息等
合計	16,270,198	16,467,656	197,458	

支出の部　△は対予算超過　（単位：円）

項目		本年度予算額（A）	本年度決算額（B）	比較増減（A－B）	摘要
事業費	会報発行費	2,100,000	2,351,049	△ 251,049	平成28年12月発行
	広報活動費	200,000	185,040	14,960	卒業記念品ほか
後援会費	強化費	7,150,000	7,149,899	101	春・夏強化費配分
	部活奨励費	550,000	530,000	20,000	全国大会・インターハイ・国体等
会議費	役員会費	250,000	272,551	△ 22,551	常任理事会・役員会経費
	総会費	550,000	565,744	△ 15,744	総会経費
事務局費	人件費	1,300,000	1,290,046	9,954	事務職員給与
	旅費	180,000	184,540	△ 4,540	科・支部総会出席旅費
	印刷費	50,000	5,400	44,600	年賀状印刷費
	照務費	50,000	50,568	△ 568	事務用品等
	通信費	270,000	221,976	48,024	切手・電話料金・コピー機リース代
	雑費	80,000	80,868	△ 868	振込手数料・学事職員録・アルバムほか
慶弔費		350,000	467,526	△ 117,526	科・支部総会等のお祝い・シクラメン等
予備費		1,190,198	0	1,190,198	
基金積立金		2,000,000	2,000,000	0	同窓会基金会計への繰出
合計		16,270,198	15,355,207	914,991	

（収入総額）16,467,656円 －（支出総額）15,355,207円 ＝（差引残高）1,112,449円（次年度繰越金）

通帳、諸帳簿等を照合した結果、以上の会計に相違ないことを認めます。

平成28年4月11日

監事　鷲　孝雄
小山田　正敏
池浦　輝雄

★同窓会費納入にご協力をお願いいたします★
同封の振込用紙にて納入して下さい。
年間費 ― 3,000円（体育後援会費含む）

平成27年度後期～28年度前期 部活動報告

◆スケート部

第40回岩手県スプリントスピードスケート選手権大会

【男子】
500m　第1位　斉藤　龍汰（M3）
1000m　第1位　米田　恵隆
1000m　第1位　米田　恵隆（Ch1）
5000m　第3位　斉藤　龍汰
1000m　第3位　米田　恵隆
5000m　第3位　斉藤　龍汰
1000m　第3位　斉藤　龍汰（M1）
総合成績　第3位　米代　恵隆

第65回岩手県高等学校スケート競技選手権大会

【男子】
500m　第1位　米田　恵隆
1000m　第2位　斉藤　龍汰
1000m　第2位　米田　恵隆
1500m　第2位　斉藤　龍汰
5000m　第2位　吉田　悠太（M3）
1000mR　第2位　横沢直太郎
2000mR　第1位　斉藤・佐藤・米田・横沢

学校対抗　第1位　斉藤龍汰・佐藤寛人・米田恵隆

第45回東北高等学校スケート競技選手権大会兼第27回東北スケート競技選手権大会

【男子】
500m　第2位　斉藤　龍汰
1000m　第4位　米田　恵隆
1500m　第5位　佐藤　寛人（AD1）
1000m　第2位　斉藤　龍汰
5000m　第5位　米田　恵隆
3000m　第6位　横沢直太郎
学校対抗　第3位　横沢直太郎

第31回岩手県選抜スピードスケート競技会

【男子】
500m　第3位　斉藤　龍汰
1000m　第2位　斉藤　龍汰
3000m　第2位　斉藤　龍汰
5000m　第1位　斉藤　佳広

平成27年度全国高等学校総合体育大会兼第65回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会

【男子】
500m　第10位　斉藤　龍汰
1000m　第22位　米田　恵隆
1500m　第27位　斉藤　龍汰
5000m　第56位　佐藤　寛人
1000m　第28位　横沢直太郎
5000m　第39位　斉藤　佳広
1000m　第27位　斉藤　佳広

希望郷いわて国体

少年グレコローマンスタイル
2回戦　55kg級　村上　英二（C3）
第5位　66kg級　村上　英二（C3）
藤原　崇成（C3）

成年フリースタイル
第3位　86kg級　伊藤　拓也
（合同会社HUG：H15年度土木科卒）

成年グレコローマンスタイル
第3位　98kg級　横澤　徹
（盛岡市役所：H20年度工業化学科卒）

東北総合体育大会

少年グレコローマンスタイル
第3位　55kg級　村上　英二（C3）
第4位　66kg級　藤原　崇成（C3）
74kg級　藤澤　考駿（M2）

全国総合体育大会レスリング競技

個人対抗戦
1回戦　55kg級　村上　英二（C3）

全国高校生グレコローマンスタイル選手権大会

3回戦　55kg級　村上　英二（C3）
60kg級　浅沼　竜（AD3）
1回戦　66kg級　藤原　崇成（C3）
2回戦　74kg級　藤澤　考駿（M2）
3回戦　小西　拳（C2）

◆陸上部

第68回高総体

4×400mR　第5位
小笠原剛（C3）、小笠原陵真（M2）、橋本紘佑（ME3）、中田裕二（C3）
砲丸投　第4位　湯澤秀太（Ch1）
ハンマー投　第3位　久慈航暉（E3）
以上　東北大会出場

第71回東北高等学校陸上競技大会

4×400mR　予選敗退
小笠原剛（C3）、小笠原陵真（M2）、橋本紘佑（ME3）、中田裕二（C3）
砲丸投　第22位　湯澤秀太（Ch1）
ハンマー投　第7位　久慈航暉（E3）

◆無線部

第27回全国高等学校アマチュア無線コンテスト

マルチオペ　7MHz部門　準優勝
阿部伸一（C2）、鈴木真心（E3）

◆ロボット競技大会

平成28年度第24回全国高等学校ロボット競技会

電子機械科
盛工ME2016　ベスト8
（9年連続全国大会出場）
敢闘賞、アイディア賞（ダブル受賞）

◆自動車部

2016 ワールド・エコノ・ムーブ大漁村スポーツラインBelugaカップ

Beluga2号　5位
Beluga1号　8位
Beluga2号は、ワールド・エコノ・ムーブ11年ぶりの入賞

◆囲碁・将棋

第40回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権
岩手県大会

個人戦24名参加、級位認定者12名
団体戦A（第6位）（M3）、奥真陽（E3）、竹林大志（E3）

◆吹奏楽部

平成全日本吹奏楽コンクール第54回岩手県大会

高等学校小編成の部　銀賞
第40回岩手県マーチング・バトンフェスティバル
優秀賞

◆文学部

第39回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門（高校生文芸集38）コンクール
平成28年度岩手県高校生文芸コンクール

短歌部門　優秀賞　紺野　来夏（Ch1）

◆バレーボール部

第68回高総体

1回戦　盛工　2―0　一関商工
2回戦　盛工　0―2　盛岡南

◆水泳部

第68回高総体

100mバタフライ　中沢文哉（E3）　第16位
400mメドレーリレー　第11位
水野・向井・中沢・吉田
800mフリーリレー
山崎・水野・日山・吉田　第13位
100m平泳ぎ　向井理貴（E2）　第12位
100m背泳ぎ　水上航太（E1）　第17位
水野一真（Ch2）　第16位
日山大成（Ch2）
吉田雄翔（E1）　第19位
山崎　隼（E2）　第20位
赤澤公太（E1）　第27位
400mフリーリレー　第49位
向井・中沢・水野・吉田　第13位
50m自由形
日山大成（E1）
吉田雄翔（E1）
山崎　隼（E2）
赤澤公太（E1）　第49位

◆卓球部

第68回高総体

男子学校対抗
1回戦　○盛工　3―1　福岡工×
2回戦　×盛工　1―3　釜石○
個人戦シングル
1回戦　×大崎（ME3）　2―3　大東○

◆野球部

第63回春季東北地区高等学校野球岩手県大会

1回戦　盛工　○4―0　花巻農
2回戦　盛工　○3―1　花巻東
3回戦　盛工　○5―3　大野
4回戦　盛工　●2―5　専大北上

第98回全国高等学校野球選手権岩手大会

1回戦　盛工　●1―5　盛岡商

◆女子バスケットボール部

第68回高総体

盛工　26―167　種市高

◆男子バスケットボール部

第68回高総体

団体の部
盛工　3―2　久慈東
個人の部
60kg級　大柳　礼生（AD2）
66kg級　内藤　清真（M1）
浅井田　久（M3）
73kg級　中川　伸吾（ChE3）
吉田　貴哉（M3）
81kg級　藤原　龍成（E2）
藤田　耀平（ME3）
90kg級　佐藤　優太（C3）
100kg級　久保　蓮（C2）
大輝（E1）

3回戦　盛工　86―71　福岡
4回戦　盛工　93―71　水沢一
準々決勝　盛工　78―75　盛岡三
準決勝　盛工　59―97　盛岡南
第3位　優秀選手賞　川村志瞳（C3）

第37回岩手県高等学校選抜バスケットボール大会兼第47回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会

1回戦　盛工　69―87　一関修紅
第3位　盛工　61　盛岡市立

◆ラグビー部

第3回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会岩手県予選

1回戦　盛工　38―0　釜石商工
準決勝　盛工　43―5　宮古
決勝　盛工　12―19　黒沢尻工
第3位

第68回高総体

A・1　リーグ戦
盛工　48―0　宮古
盛工　7―40　黒沢尻工
盛工　19―21　黒沢尻北
第3位　東北大会II部出場

◆ソフトテニス

第68回高総体

個人戦　高田将史（M3）・大坊直輝（AD3）
第5位　渡場洸樹（C1）・吉田健人（M1）
ベスト8
団体戦
二回戦　盛工　3―0　金ケ崎
三回戦　盛工　2―1　盛一
準々決勝　盛工　2―0　盛三
準決勝　盛工　0―2　岩手高
第三位　日28東北大会出場

第59回東北高等学校ソフトテニス選手権大会

団体戦予選リーグ
1回戦　盛工　1―2　秋田大曲工
2回戦　盛工　0―3　宮城東北
個人戦
高田将史・大坊直輝
1回戦　盛工　④―1　秋田大館鳳鳴
2回戦　盛工　2―4　山形山形市立商
渡場洸樹・吉田健人
1回戦　盛工　2―4　宮城興東北

希望郷いわて国体

少年男子の部
本校から大坊　直輝が出場
2回戦　②―1　鹿児島県
準々決勝　0―2　奈良県
ベスト8進出（16年ぶりの進出）
順位決定戦
1試合目　②―1　愛媛県
5・6位決定戦　②―1　石川県
第5位入賞（本県初）

◆テニス部

第68回高総体

団体戦
1回戦　盛工　2―1　福岡工
2回戦　盛工　2―1　盛岡四
準決勝　盛工　0―3　盛岡三
第3位
個人戦　男子シングルス
高橋蒼太（E3）、細田和希（AD3）、吉田雅治（AD2）本戦出場
個人戦　男子ダブルス
高橋蒼太（E3）・伊藤広貴（M3）
ベスト16

◆アーチェリー部

第68回高総体

男子団体　第1位
小坂（E2）・鈴木（M2）、高橋（M3）、田坂（ME3）
男子個人
第1位　小坂スニル　パビロ（E3）
鈴木　泰哉（M2）
第4位　高橋宗一郎（M3）
第6位　清水　舜己（ME3）

第34回東北高等学校アーチェリー選手権大会

男子団体　予選6位通過
決勝　第2位
小坂（E2）、高橋（M3）、鈴木（M2）、田坂（ME3）
男子個人　田坂　陽樹（M3）　26位
小坂スニル　パビロ（E3）　予選13位
鈴木　泰哉（M2）　予選21位
高橋宗一郎（M3）　予選15位

全国高等学校総合体育大会アーチェリー競技大会

男子団体
小坂（E3）、田坂（ME3）、高橋（M3）、鈴木（M2）、
予選15位通過
決勝　1回戦敗退（ベスト16）
男子個人
田坂　陽樹（M3）
予選52位　決勝　ベスト64
鈴木　泰哉（M2）　71位
小坂スニル　パビロ（E3）　86位
高橋宗一郎（M3）　95位

平成第43回東北総合体育大会アーチェリー競技

少年男子　岩手県　第3位
田坂（M3）、田坂（M3）　ほか
少年男子個人
高橋（M3）　2位
高橋宗一郎（M3）　9位

希望郷いわて国体

少年男子　岩手県　予選　11位通過
田坂　陽樹（M3）
決勝　8位
高橋（M3）、田坂（M3）　ほか
少年男子個人
高橋宗一郎（M3）　35位
田坂　陽樹（M3）　43位

◆ウェイトリフティング部

第68回高総体

男子学校対抗戦　優勝（4年ぶり9度目）
69kg級　第1位　七戸　格（C2）

◆レスリング部

全日本ジュニアレスリング選手権大会

カデットの部グレコローマンスタイル
第2位　100kg級　小西　拳（C2）
第3位　76kg級　藤澤　考駿（M2）

第68回高総体

学校対抗戦リーグ戦　第3位
1回戦　盛工　2―5　種市
2回戦　盛工　3―4　宮古商業
個人対抗戦
第1位　55kg級　村上　英二（C3）
第2位　60kg級　浅沼　竜（AD3）
66kg級　崇成（C3）
74kg級　藤原　考駿（M2）
第2位　96kg級　小西　拳（C2）
第3位　50kg級　中村　圭吾（C2）
55kg級　佐々木拓実（C2）
第3位　55kg級　小田　春亜（Ch2）
第3位　74kg級　阿部　晴喜（Ch2）
女子第2位　56kg級　北條希紗来（AD2）

第62回東北高等学校レスリング選手権大会

個人対抗戦
2回戦　55kg級　村上　英二（C3）
1回戦　60kg級　中村　圭吾（C2）
1回戦　60kg級　浅沼　竜（AD2）
1回戦　66kg級　小田　春亜（Ch3）
1回戦　74kg級　藤原　崇成（C3）
2回戦　74kg級　藤澤　考駿（M2）
2回戦　96kg級　阿部　晴喜（Ch2）
2回戦　96kg級　小西　拳（C2）

2016アジアカデットレスリング選手権グレコローマンスタイル（日本代表）

第5位　100kg級　小西　拳（C2）

第67回東北高等学校ラグビーフットボール大会兼NHK杯東北高等学校ラグビーフットボール選手権大会

II部
1回戦　盛工　82―0　山形南
準決勝　盛工　21―21　黒沢尻工
※抽選の結果決勝へ進出決勝　秋田中央
盛工　29―26　秋田中央
東北大会II部優勝

第96回全国高等学校ラグビーフットボール大会岩手県大会

準々決勝　盛工　102―3　不来方
準決勝　盛工　23―26　黒沢尻工

希望郷いわて国体

【少年の部】
1回戦　岩手県　7―24　愛知県

◆登山部

第68回高総体第57回登山競技

裏岩手連峰（八幡平市）2位　94.8点
〈前川（E3）、熊谷（E3）、中野（AD3）、菅原（C2）〉
中野（AD3）、菅原（C2）
優勝　93.7点（山形県）
蔵王山（山形県）

第2回東北高等学校登山大会

第63回全国高等学校選手権大会

希望郷いわて国体

◆ウェイトリフティング部

第68回高総体

男子学校対抗戦　優勝（4年ぶり9度目）
69kg級　第1位　七戸　格（C2）

◆レスリング部

全日本ジュニアレスリング選手権大会

カデットの部グレコローマンスタイル
第2位　100kg級　小西　拳（C2）
第3位　76kg級　藤澤　考駿（M2）

第68回高総体

学校対抗戦リーグ戦　第3位
1回戦　盛工　2―5　種市
2回戦　盛工　3―4　宮古商業
個人対抗戦
第1位　55kg級　村上　英二（C3）
第2位　60kg級　浅沼　竜（AD3）
66kg級　崇成（C3）
74kg級　藤原　考駿（M2）
第2位　96kg級　小西　拳（C2）
第3位　50kg級　中村　圭吾（C2）
55kg級　佐々木拓実（C2）
第3位　55kg級　小田　春亜（Ch2）
74kg級　阿部　晴喜（Ch2）
女子第2位　56kg級　北條希紗来（AD2）

第62回東北高等学校レスリング選手権大会

個人対抗戦
2回戦　55kg級　村上　英二（C3）
1回戦　60kg級　中村　圭吾（C2）
1回戦　60kg級　浅沼　竜（AD2）
1回戦　66kg級　小田　春亜（Ch3）
1回戦　74kg級　藤原　崇成（C3）
2回戦　74kg級　藤澤　考駿（M2）
2回戦　96kg級　阿部　晴喜（Ch2）
2回戦　96kg級　小西　拳（C2）

2016アジアカデットレスリング選手権グレコローマンスタイル（日本代表）

第5位　100kg級　小西　拳（C2）

就任のあいさつ

ラグビー部監督
小原　義巧

同窓会の皆様方におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より物心両面でご支援ご協力、誠にありがとうございます。

私は、平成13年に本校を卒業し、大学・社会人とプレーを続け、現役引退後に教員となり、昨年度本校に赴任し、昨年度の11月より監督を務めさせていただいております。歴史と伝統ある盛工ラグビー部の監督を努めた、錚々たる先生方に少しでも近づけるよう、不撓不屈の精神で指導に邁進する所存でございます。何かと至らぬ点があるとは存じますが、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

さて、今年度は4年ぶり5回目の全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会出場を果たし、幸先のいいスタートを切ることができ、6月の東北大会では2部で優勝し、選手たちは自信と誇りを取り戻してくれました。

夏には、北海道選抜大会への招待を皮切りに、校内合宿を毎年恒例の菅平合宿を経て、心身共に逞しく成長してくれました。更に、希望郷いわて国体では女子選手を含む、10名の選手がオール岩手として、懸命にプレーしてくれました。

そして、去る10月22日、第96回全国高等学校ラグビーフットボール大会岩手県大会が、八幡平市の八幡平市ラグビー場で行われました。相手は県高校総体で苦杯を嘗めた、黒沢尻工業高校との対戦となりました。

背水の陣で臨み、選手たちは立ち上がりから一進一退の攻防を繰り広げます。前半7―7で折り返すと、後半に入り、一時は勝ち越すことに成功しましたが、終盤立て続けに失点し23―26で敗れてしまいました。

結果として負けてはしまいましたが、選手たちは自ら考え・判断し・闘志を前面に出し、最高のゲームを展開してくれました。この3点はすべて私の不徳の致すところだと、真に受け止めております。

また、当日は吉田同窓会長をはじめ、多くのOBの方々が母校の応援に駆けつけてくださり、声を嗄らしながら応援してくださいました。この場をお借りして御礼申し上げます。誠に有り難うございました。

今後とも盛工ラグビー部へのご支援ご協力の程、宜しくお願いいたします。

特集　2016 希望郷いわて国体

第71回国民体育大会　広げよう 感動。伝えよう 感謝。

同窓生の活躍

ウェイトリフティング競技

内村　湧嬉（平成21年度電子機械科卒）　成年の部　62kg級Ｃ＆Ｊ競技優勝

希望郷いわて国体に向けて、盛岡工業高校関係者の皆様を始めとし、多くの方の励ましとご指導を頂きながら強化を重ねてきました。また、同校の練習場を拠点に強化練習会や合宿を行い、実りある練習が出来たことに感謝しています。

高校時代を振り返ってみると、寮生活で朝の清掃・点呼から食堂で朝・昼・夜と栄養バランスのとれた食事をいただき、勉学、部活に集中して取り組むことが出来ました。鍛え抜かれた先輩達に指導して頂き、３年生の時には奈良インターハイ、新潟国体で優勝することが出来ました。これもひとえに盛岡工業高校の恵まれた環境あってのことだと思います。地元国体での優勝を目標に練習に励んでおりましたが、大学３年の時に東日本大震災により岩手は甚大な被害を受け、多くの方々が命を落とされました。大きな悲しみを感じるとともに、自分の出来ることを精一杯やろうと決心しました。本国体に向けては、復興・発展国体ということで、お世話になった方々への感謝や、これからの後輩の見本になれるようにと思って出場しました。

これまでの大会よりも「岩手のために」、「岩泉のために」という思いが強く、スナッチ競技では気持ちが空回りしたのか、全ての試技を失敗して記録なしに終わりました。続くクリーン＆ジャーク競技では高校時代に全国選抜、インターハイ、国体で優勝していますので、「自信を持ってやるしかない」と気持ちを切り替え、三回目に自己新記録を成功させて優勝することができました。スナッチ競技で失格し、立ち直る力が沸き上がってきたのは、他でもない盛岡工業高校での高校生活です。今の自分の基礎を作ってくださった礎が３年間の高校時代にありました。質実剛健の校訓のもと、先輩に鍛えられ、後輩に支えられ、先生方にご指導していただいた３年間があったからこそ、諦めずに優勝できたと思っています。

盛岡工業高校在校生の皆さん、何をやっても３年間は平等に過ぎていきます。自分のために、何か一つでも本気になれる、目一杯頑張ることを決めて高校生活を送ってください。それは将来の自分を支える糧になり、皆さんの後輩達の誇りになります。是非、実りある３年間を過ごして下さい。盛岡工業高校のますますの発展を祈念し、優勝報告といたします。

アーチェリー競技

丹野　天士（平成22年度機械科卒）　成年男子団体　７位入賞

10月７日から９日までの３日間、雫石町総合運動公園にて開催された希望郷いわて国体アーチェリー競技に参加してきました。成年男子は昨年の和歌山国体に出場した自分を含め盛工OB ３人で国体に臨みました。

初日の予選ラウンドでは、風が強く思うように点数を出すことができず、納得のいく結果につなげることができませんでした。チームを引っ張る立場でしたが、点数が伸びずチームメイトにも負担をかけてしまいました。それでも、チームで目標に向かい自分を信じて予選を射ちきり、成年男子は８位で予選ラウンドを通過し、入賞を確実なものにしました。翌日の決勝ラウンドでは、昨年和歌山国体で６－２で敗れている広島との試合となりましたが、実力差で６－０とリベンジにはなりませんでしたが、総合得点により7位入賞となりました。

地元での国体を振り返ると、多くの方からの応援やご支援を身近に感じることができ、スポーツを続ける事ができるのも、多くの方の支えがあってのものだと再認識することができましたし、改めてスポーツの素晴らしさを実感することができました。過去の国体では、予選を突破することができず苦しい思いをしてきましたが、昨年の和歌山国体では成年男子初の予選通過となり、いわて国体では初の団体入賞を果たすことができました。

国体までの長い期間、普段の練習から強化合宿等で熱心に指導してくださった角清一先生を始め、準備・運営に尽力していただいた多くの方がいたからこそ、手にすることができたと感じています。目標にしていた優勝には届きませんでしたが、地元国体で選手としてかかわることができたことを誇りに思います。

また、いわて国体が「ゴール」ではなく新たな「スタート」として、競技だけでなくさまざまな面でこれからも一生懸命取り組んでいきたいと思います。

在校生の活躍

〈スケート部〉

監督　植津悦典

盛工スケート部は主将の横沢直太郎（機械科２年）を中心に、現在３年生１名、２年生４名、１年生４名の計９名で活動しています。

昨年度は地元岩手でインターハイ・希望郷岩手国体が開催され本校からも多くの選手が参加しました。インターハイでは男子５００ｍで斉藤龍汰（機械科３年）が10位、米田恵隆（工業化学科２年）が11位と個人種目で全国と互角に戦ってくれました。また、２０００ｍリレーでは４人中３人が１年生という若いチームではありましたが練習通りの力を発揮し県勢最高位となる５位入賞を果たすことが出来ました。

続いて行われた岩手国体では少年男子５００ｍで斉藤龍汰が３位、工業化学科２年米田恵隆が５位入賞、１５００ｍでは横沢直太郎が７位入賞と目標としていた盛工選手で20点を獲得することが出来ました。

今年度は陸上トレーニングや盛岡市アイスリンクでショートトラックの練習を主とし心技体鍛えています。有望選手も入部し例年以上に活動しています。１月に行われる栃木インターハイ・長野国体での優勝はもちろん、世界出場を視野に入れ恵まれた盛工の施設で今後とも頑張っていきたいと思います。

今後とも歴史と伝統のある盛岡工業高校で、各種大会で活躍することはもちろん岩手のスケート界の発展と成長に寄与し岩手、盛工の力を全国に発信していきたいと考えています。

最後になりますが、いつも支えてくださる同窓生の皆様に感謝申し上げるとともに、今後も一層の御指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げ、スケート部の報告とさせていただきます。

〈陸上部〉

投てき監督　村守伸介

出場選手：湯澤（ゆざわ）秀太（しゅうた）（Ch１）

種目：少年男子Ｂ砲丸投

決勝　18位　14ｍ11

※少年Ｂ（中学３年生と高校１年生）

湯澤選手は、７月の国体予選会を優勝し、いわて国体出場を決めました。今シーズンの湯澤選手は、１年生ながら県高校総体に入賞し、東北大会まで進むなど活躍してきました。国体では入賞を目標に頑張ってきましたが、結果は入賞には遠く及びませんでした。

湯澤選手は、専門的に陸上競技を始めたのは高校入学後からです。今国体で入賞した選手らは、中学時代から専門的に競技をやっており、『経験差』が競技結果に表れたと思います。しかし、高校１年生で全国大会を経験できたことは大きく、全国で活躍する選手と自分とを比較したときの様々な『差』というのを感じたことが大きな財産になったと思います。湯澤選手本人が、この差をどう感じたか。そして今後、この差をどう埋め追い抜いていくかを考えて、トレーニングに励んでいくことが今後のインターハイ・国体などの全国大会で活躍するためには必要です。

最後に日頃から陸上競技部の活動に対してご理解とご協力を頂いております盛工同窓会並びに体育後援会に厚く御礼申し上げます。また変わらぬご支援ご指導の程よろしくお願いします。

〈アーチェリー部〉

監督　角　清一

岩手国体では、本校から少年種別に機械科３年髙橋・田坂の２名、成年種別に丹野天士先生他ＯＢ２名で挑みました。

予選ラウンドは、少年においてインターハイよりも順位を上げ11位で通過、成年は８位で通過し入賞を確実なものにしました。続く決勝ラウンドでは、成年は昨年も６―２で負けている広島との試合となり今年さらに補強されたチームに全くの実力差で６―０で負けたものの、総得点により7位入賞となりました。

少年は、予選7位の山梨との試合となりました。予選では点数を作るのに苦労し点数を落としてしまいましたが、実力的には拮抗していたと思います。シーソーゲームの展開となり、最後は同ポイントによりシュートオフ。7，8，9点といつも通りの得点を打つことができたものの相手は29点と高得点！入賞には一歩届かず9位となりました。総合では、女子選手の頑張りもあり8位と表彰台へ上がることが出来ました。

地元国体を振り返ると様々な方からの応援やご支援・頑張りなどを身近に感じ改めてスポーツのすばらしさを実感しました。敗退こそしましたがここでプレーできたことは選手を始め補助員として活動した部員にとってもかけがえの無い財産となりました。

最後になりますが、日頃より同窓会・体育後援会の皆様より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

科だより……工業化学科

【工業化学科紹介】

工業化学科長
横向　利昌

工業化学科の現状は、現在、在学生が一年生38名⑤、二年生41名③、三年生37名①合計116名（女子⑨名）が在籍しています。

進路ではここ数年の求人数が、バブル時代の求人数に追いつこうとする勢いで増加中です。主に県外企業からですが、川崎周辺や京葉コンビナートの各企業からの求人が増加中です。また、それに付随した周辺地域・北関東の企業からも求人数が増加している状況です。県内を見渡すと、毎年求人を出してくれる企業だけでなく、これまで求人がなかった企業からも求人が見られるようになり、生徒達にとっては、選ぶのに苦労しているようです。また、昨年度までの三年間は地元志向の卒業生が多く、県外、県内にほぼ半数が就職していましたが、今年の三年生は就職希望者28名中23名が県外へ、5名が県内就職予定です。

進学者では、昨年、本校工業化学科としては久しぶりに、国公立大学へ入学することができました。大学名は北見工業大学です。北海道の果てではありますが、国公立大学の一つです。それ以外では、私立大学への進学者が5名と数年のうちでは、大学進学者も多くいました。どの生徒も推薦ですが、頑張ってくれることを期待しています。また、国公立大学への進学の道もありますので挑戦するような生徒が増えてくれることを願うだけです。

今年は、岩手国体の開催で、地元だけに数多く出場者を出したかったところではありますが、一年生の生徒が1名、少年B陸上競技で出場、冬季国体では、現在二年生の生徒がスケート競技で複数種目で入賞を果たすなど活躍してくれました。今年度もその生徒には期待したいところです。しかし、文武両道で活躍してくれる生徒が徐々に減少傾向にあるようで残念な状況です。

また、平成26年度第14回高校生ものづくりコンテスト全国大会化学分析部門が本県で開催され、東北大会第1位の当時工業化学科三年生の上野祐真君と開催県枠（東北大会第二位）で工藤和希君が出場しました。二人とも直前まで放課後を利用して練習を繰り返し、工藤君が優勝し、文部科学大臣賞を受賞しました。この大会は、平成11年を皮切りに今年で16回を迎えた大会であります。化学分析部門は、「キレート滴定による水の硬度分析」というテーマで試料溶液中のカルシウム濃度とマグネシウム濃度をEDTA溶液を滴定溶液として指示薬のもとで滴定計算し、それぞれの濃度を求めるという内容の実験を二時間半の中で後片付けまで行って、報告書を提出した時点が終了時刻となる競技です。正確さだけでなく、スピードも要求される競技になっています。岩手県では平成17年から競技の県大会を実施しています。全国大会には平成23年に一度出場したことがありましたが、そのときは、上位入賞はできませんでした。しかし、平成26年には、大会開催県でもあり、開催県枠と東北代表の枠の2名の生徒が出場し、見事優勝してくれました。

出場資格を得るには、県大会・東北大会で一位であることや巡り合わせで開催県であれば開催枠で出場できます。岩手県選手は、東北大会でも常に上位入賞を果たしておりました。全国大会では東北からの出場選手でも中々入賞に至った選手はなく、優勝は初めてのことでした。

また、何年か後に大会が東北にやってくると思いますが、その前にもう一度全国優勝する生徒を出したいと思っております。

定時制だより

定時制の近況

定時制総務部長　**前田　康雄**

同窓会会員の皆様には、日頃より定時制教育の振興に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

現在、一年生が二名、二年生七名、三年生二名、四年生一名の計十二名が、日々の学習に取り組んでいます。

今年度の高総体は陸上競技部、卓球部、バドミントン部の三部が出場しました。なかでも、陸上競技部は三年生の柴谷啓暉が「走り幅跳び」第一位、「100m」第三位。二年生の西谷秀成が「1500m」第一位。同じく二年生の武田望が「砲丸投げ」と「円盤投げ」で第二位と活躍し、三人とも東京の駒沢オリンピック公園陸上競技場で行われた第五十一回全国定通陸上競技大会に出場しました。

資格取得では、昨年度に引き続き、第二種電気工事士に一名が合格しております。

第六十六回岩手県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会が九月二十五日（日）に二戸市民文化会館で行われ、四年生の樋口道明が「高校生活の中で見つけたこと」と題し、高校生活四年間の自分自身を見つめ直し、アルバイトをすることで学んだことを発表しました。

十月四日（火）から、二日間にわたり盛岡タカヤアリーナで行われた「希望郷いわて国体」の体操競技を応援し、連帯感とスポーツの素晴らしさを体感してきました。

十月十四日（金）には、校外学習として岩手町のニチコン岩手㈱と葛巻の風力発電所を見学してきました。

第二十八回全日本ロボット相撲東北大会が、十月二十三日(日)に秋田県立横手清陵学院高等学校で行われ、四年生の樋口道明と三年生の柴谷啓暉が参加しましたが、入賞まであと一歩と言うところでした。

各大会出場につきましては、同窓会・体育後援会から多大なご支援をいただき厚く御礼申し上げます

定時制の就職状況ですが、昨年度は二名が管内、一名が未定でした。今年度は、二名全員が内定済みです。

定時制の就業率は、約四十％と昨年度よりは減少しましたが、「働きながら学ぶ」という定時制の本分を心に銘記して、生徒・職員一丸となって努めてまいりたいと思っております。

今後とも、さらなる定時制のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

平成27年度　各科進路先一覧

（企業名及び校種別の学校名は五十音順）

＜機　械　科＞

【管内企業】 IGRいわて銀河鉄道㈱、岩手トヨタ自動車㈱（２名）、岩手トヨペット㈱、岩手日産自動車㈱、岩手日野自動車㈱、㈱カガヤ、北日本石油㈱盛岡販売支店、サンレール工業㈱、西根工業㈱、東日本マジックパール㈱、㈲平和圧送（２名）、盛岡日産モーター㈱、㈱ミクニ盛岡事業所、盛岡セイコー工業㈱、㈱やまびこ盛岡営業所

【県内企業】 ㈱アイメタルテクノロジー、富士フィルムテクノプロダクツ㈱花巻サイト、みちのくクボタ㈱

【県外企業】 いすゞ自動車㈱、エーシーサンヨーテクノ㈱、キャタピラー東北㈱、コスモエレベーター㈱、西武鉄道㈱（２名）、トヨタ自動車東日本㈱、パナソニックES産機システムズ㈱、日野自動車（２名）、㈱Music Office SIMON

【進　　学】 関東学院大学、東洋大学岩手県立黒沢尻工業高等学校専攻科（２名）、岩手県立産業技術短期大学校矢巾校、岩手県立二戸高等技術専門校（２名）、ホンダテクニカルカレッジ関東、盛岡公務員法律専門学校

＜電子機械科＞

【管内企業】 ㈱小山田工業所スチール事業部、㈱北岩手電工、佐藤電機工業㈱、鈴木機械㈱、盛岡セイコー工業㈱（３名）、平野機工㈱

【県内企業】 ㈱みちのくクボタ

【県外企業】 いすゞ自動車東北㈱、㈱NTT-ME、㈱サンデー、サンヨーエアサービス㈱、住友電気工業㈱横浜製作所、太平ビルサービス㈱東京支店、㈱ティエムディ、日東工機㈱、パナソニックES産機システムズ㈱、㈱ホンダテクノフォート、㈱ユアテック、横河電子機器㈱秦野事業所

【進　　学】 國學院大学、日本体育大学、日本文理大学、岩手県立産業技術短期大学校水沢校（２名）、岩手県立産業技術短期大学校矢巾校（３名）、岩手県立二戸高等技術専門校、国際医療福祉専門学校一関校、専門学校盛岡カレッジオブビジネス、専門学校HAL東京、盛岡公務員法律専門学校（２名）、盛岡情報ビジネス専門学校（２名）

＜電　気　科＞

【管内企業】 岩舘電気㈱、㈱岩手電工、岩手東邦運輸倉庫㈱、㈱興和電設、新興電気㈱（２名）、鈴木農機㈱、ニチコン岩手㈱、盛岡ガス㈱

【県内企業】 ㈱アイオー精密

【県外企業】 石田エンジニアリング㈱東京支店、NECネッツエスアイサービス㈱（２名）、㈱関電工、㈱きんでん、新コスモス電機メンテナンス㈱、JRCシステムサービス㈱、太平ビルサービス㈱東京支店、高田電設㈱、東京ビジネスサービス㈱、東芝エレベータ㈱東京支社、東芝エレベータ㈱東北支社、東北自然エネルギー㈱、東北送配電サービス㈱、一般財団法人東北電気保安協会、東北電力㈱（２名）、㈱ハックルベリージャパン沖縄支部、東日本電気エンジニアリング㈱

【進　　学】 関東学院大学、岩手県立産業技術短期大学校水沢校（２名）、岩手県立産業技術短期大学校矢巾校、北日本医療福祉専門学校、東京トヨタ自動車大学校、東北電子専門学校、盛岡公務員法律専門学校、盛岡情報ビジネス専門学校

＜電子情報科＞

【管内企業】 JR盛岡鉄道サービス㈱、昭和パックス㈱盛岡工場、㈱ミクニ盛岡事業所、盛岡セイコー工業㈱、㈱三田商店

【県内企業】 岩手缶詰㈱、ケミコン岩手㈱、㈱ヤマト

【県外企業】 ㈱NTT-ME（２名）、新コスモス電機メンテナンス㈱、寺岡オート・ドアシステム㈱、東京電力㈱、トッパン・フォームズ・オペレーション㈱、㈱フルタイムシステム、㈱マルテー大塚、吉川運輸㈱

【公　務　員】 岩手県警、葛巻町職員

【進　　学】 岩手県立大学（３名）、神奈川大学、拓殖大学、東京電機大学、東北芸術工科大学、東北工業大学、岩手県立産業技術短期大学校矢巾校（３名）専門学校HAL東京、東京コミュニケーションアート専門学校、東北電子専門学校（２名）、日本工学院八王子専門学校、盛岡情報ビジネス専門学校（２名）

＜土　木　科＞

【管内企業】 岩手生コンクリート工業組合、三陸土建㈱、東日設計コンサルタント㈱、㈱中村建設、菱和建設㈱

【県外企業】 鹿島道路㈱、㈱佐藤渡辺、新日鐵住金㈱君津製鐵所、世紀東急工業㈱、仙建工業㈱（２名）、大成ロテック㈱、東急軌道工業㈱、東京技工㈱、東京地下㈱、東鉄工業㈱、日本道路㈱東北支店、北海道旅客鉄道㈱、山崎建設㈱東北支店（２名）、ユニオン建設㈱

【公　務　員】 岩手県職技術（３名）、国土交通省東北地方整備局

【進　　学】 関東学院大学、東洋大学、大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校（２名）、東北電子専門学校、盛岡ヘアメイク専門学校（２名）

＜工業化学科＞

【管内企業】 ㈱岩手畜産流通センター、岩手生コンクリート工業組合、㈱寿広、泉金物産㈱、マルハ産業㈱盛岡営業所（２名）

【県内企業】 新日鐵住金㈱棒線事業部釜石製鐵所、東北資材工業㈱

【県外企業】 アイエックス・ナレッジ㈱、アートコーポレーッション㈱、㈱NUC川崎工業所、佐川急便㈱、㈱T&K　TOKA埼玉事業所、東京急行電鉄㈱鉄道事業本部、富士石油㈱袖ヶ浦製油所、HOYA㈱オプティクス事業部、丸善石油化学㈱千葉工場、三井化学㈱市原工場

【公　務　員】 自衛官候補生（海上）

【進　　学】 北見工業大学、仙台大学、日本大学、富士大学、盛岡大学、山梨学院大学、北上コンピュータアカデミー、上野法律ビジネス専門学校、花壇自動車大学校、菜園調理師専門学校

＜建築・デザイン科＞

【管内企業】 ㈱岩電、㈱Aコープ北東北、㈱カガヤ、小岩井農牧㈱小岩井農場、㈱鈴正、㈲曽我工務店、㈱高光建設、㈲塚田工業、㈱恵工業、㈱モール

【県内企業】 トーサイアポ㈱

【県外企業】 ㈱アーキテクノ、㈱安藤・間、積和建設東北㈱、㈱谷口工務店、㈱中村建設、中村表装㈱

【公　務　員】 八幡平市職員

【進　　学】 愛知産業大学、関東学院大学（２名）、京都精華大学、東北学院大学、日本工業大学、八戸工業大学（２名）、秋田職業能力短期大学校、岩手県立産業技術短期大学校水沢校（２名）、岩手県立産業技術短期大学校矢巾校（３名）、東北職業能力開発短期大学校、岩手県立二戸高等技術専門校（２名）、仙台デザイン専門学校、盛岡医療福祉専門学校

＜定時制工業科＞

【管内企業】 ㈲東北電気設備工事、盛岡セイコー工業㈱

支部報告

機友会

第四十一回機友会総会報告

事務局　小笠原富雄（49年卒）

平成二十八年九月三日（土）ホテルルイズで開催され、前年度事業・決算、本年度事業計画及び予算案が承認されました。今回は役員の改選期でしたが、留任となり、二年間務めることとなりました。

講演会では、岩手大学特任教授の小綿利憲氏（昭和四十九年機械科卒）を講師に迎え「鋳造についての最近の話題」と題し、鋳造の基本から自動車業界での需要状況やレアアースメタルの効果など、興味深い話を交えての講演で在校時の実習を思い出しながら、鋳造について理解を深めることができました。

体育後援会長の乾杯で祝宴が始まり、吉田光夫氏の演舞や豪華景品付きのビンゴゲームもあり、大いに盛り上がりました。学生時代を思い出しながらの会話や近況など話は尽きないのですが、最後に機械科賛歌そして校歌を全員で斉唱し盛会裏に終えました。

今回は、参加者が総勢五十九名と少なめでしたが、目立って元気だったのがなぜか、年配の方々で、圧倒された感がありました。

次回も、機械科卒業の皆様の、多数のご参加をお待ちいたしております。

会長　竹田浩久（四八年卒）

二日会

盛工建築科二日会第四十九回総会

事務局　中村孝幸（51年卒）

3月2日に例年通り二日会は開催しました。本年も大通会館リリオを会場に開催しました。

前日の卒業式を終えほっとなさった多数の先生方に出席いただき、また各科の同窓会の会長さんたち多数の参加をいただきました。校長先生からは母校の活躍のお話を頂戴しました。まことに嬉しい報告でしたがラグビー部には期待しております。

例年通り同窓生のお顔を見ることの出来る良い会で、今年は新しい会員の出席を頂き嬉しい会になりました。懇親会では建築の同窓である川村治穂会員の尺八と民謡のアトラクションをお願いすることができました。相変わらずの美声で感心いたしました。

本年度の予定も左記の通り開催いたします。各クラスの幹事の方から連絡が行かないという声もございますが、直接申し込みいただけますのでどうぞご参加くださいますようお願いいたします。

最後に災害の多い昨今ですが建築士会盛岡支部では今年も岩泉などの住宅相談を行っております。この作業の主力も盛工の先輩たちです。建築士は年々ハードルが高くなってきておりますが、思い起こせば私たちも簡単に試験を通過したわけではありませんでした。ぜひ一度同窓会にご参加ください。

【次回総会】
日時　平成29年3月2日(木)午後5時30分から
会場　コミュニケーションギャラリーリリオ
連絡先　事務局連絡先
（019-647-1651　和見設計舎内）
会長　鷹羽金司（四七年卒）

擬宝珠会

平成二十七年度擬宝珠会総会報告

事務局　小山田正敏（42年卒）

平成27年度の総会は、平成27年11月18日（水）、ホテルメトロポリタン盛岡本館で開催されました。

恒例の記念講演では「2019ラグビーワールドカップ釜石開催に向けて」の演題で、白根敬介岩手県ラグビーフットボール協会会長（擬宝珠会副会長）にご講演いただきました。

総会は、物故者に黙祷の後、出席者全員で校歌を斉唱しました。

吉田会長が出張中の為、武田太一副会長が挨拶し、議事では各種事業が承認されました。

懇親会は、眞岩校長からご挨拶をいただき、祝宴となりました。今年も新卒者（一名）に参加していただき、年代を超えて交流を深めることが出来ました。母校の益々の発展と土木科の更なる飛躍、出席者のご健勝ご多幸を祈り、再会を約して閉会しました。

創設93年目を迎える土木科が、百周年に向けて新たな歴史を刻み続けることと、擬宝珠会総会に、さらに多くの皆様に参加していただくことを祈念し報告いたします。

会長　吉田昭夫（二七年卒）

桜化会

第四十回桜化会総会報告

事務局　下田利秋（42年卒）

平成二十八年八月二十日（金）に、第四十回総会が、エスポワールいわてにて開催されました。平成二十七年度会計決算と役員改選を全員賛成で承認されました。役員改選では、理事として小野寺東洋毅（三十五年卒）さんと中里哲夫（四十七年卒）さん、そして事務局には神　初見（四十四年卒）さんが就任いたしました。

第四十回記念として高松仁一（三十一年卒）さんより寄贈された桜化会会旗の披露があり、母校吹奏楽部による演奏で校歌を歌い、会旗に魂を込め感動のうちに終了。

懇親会では、ご来賓を多数迎え、賑やかに開催することができました。特に注目を浴びたのが、眞岩校長先生、横向先生、吉田会長、小川参与、桜化会金谷会長による「千恵っ子よされ」を津軽三味線ならぬスコップ三味線での名（迷）演奏に、会場は拍手喝采で大盛り上がりでした。

工業化学科卒業生の皆さん、来年は同級生と連絡を取って参加してみませんか？　桜化会の総会は、毎年八月に開催しています。

詳細は盛工同窓会ホームページに掲載しておりますので、参加ご希望の方は、盛工同窓会事務局まで、ご一報をお願い致します。

会長　金谷栄治（二八年卒）

桐友会

第三十五回桐友会総会報告

事務局　鷺　孝雄（41年卒）

総会も今年が三十五回。平成二十八年度の総会、懇親会は今年から山の日と制定された八月十一日（木）ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィングにおいて、総勢88名昨年比3名増で開催されました。

総会では、新しく会長として川村博明さんが承認されました。

懇親会に移り、学校・同窓会役員各科の代表役員の皆様、そして昨年総会直前体調不良で欠席なされた恩師小川桂史先生のご参加を頂きました。再会した会員は先輩、後輩の垣根を取り払い、数十年前の学生に戻り談笑し、恩師小川先生も加わり、「君は柔道部の大畑クンだったナ～」と懐かしく話をしておられました。今年は僅かながら参加者が増したものの卒業年度の古い方々の参加が目に見えて減少しているのは否めません。桐友会が存続する為にも一人でも多くの会員のご参加をお願いいたします。

【次回総会】
日時　平成29年8月11日(木)午後5時30分から
会費　7,000円
会場　ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング
会長　川村博昭（三七年卒）

E友会

第十四回E友会総会報告

事務局　川村　敬（43年卒）

E友会、電気科同窓会では5年ごとに当番幹事を決めています。世代を超えて親睦を図りたいと企画されたものです。今年は31回生から35回生（平成4年～8年）が担当しました。久しぶりに32回生の方が出席されました。

懇親会は余興あり、アカペラ独唱あり、各テーブルでの談話、談笑ありで大変盛り上がりました。これも若手当番幹事の影響だと思っております。また、第14回生還暦祝記念品贈呈を企画いたしました。今後も継続いたします。

さて、今年もサンセール盛岡で9月10日土曜日に総会及び懇親会が開催されました。総会では活動報告、会計決算監査報告、E友会役員等が話し合われ承認されました。

乾杯は80歳を超えて益々お元気で岩手の蝶の分野でご活躍されています太田圭一先生が行いました。

これからのE友会の取り組む課題は、若い世代が一人一人誘い合って参加しやすいE友会だということを同窓生に発信する方法を確立すること。旧職員、担任をされた方を多く出席してくださるように情報を共有していきます。

来年度は、多くの会員の皆様が参加していただけるよう幹事一同努力いたしますので今後もよろしくお願いいたします。

会長　安部　司（三七年卒）

盛岡市役所支部

事務局　小笠原雅彦（土木59年卒）

今年は二月十九日ホテルルイズにて開催し、会務報告と収支決算報告並びに次年度予算など恒例の議案承認を行いました。

総会後の懇親会においては、母校の近況や盛工生の活躍の報告に、感謝の思いを抱きながら歓談に花を咲かせました。ご出席頂きました皆様方に御礼申し上げます。

さて、平成二十八年は「希望郷いわて国体」の年であります。冬季大会では少年スケートにおいて、県勢唯一の入賞を盛工生が果たすなどの輝かしい成果を挙げられた伺い、十月から開催される本大会も盛工生の大いなる活躍を期待しているところであります。

支部会員も競技運営に携わりながら来場者及び競技関係者への「おもてなし」に努めつつ、地元国体に向けて日々、合宿や遠征などの強化に取組む盛工生を支部一同応援しております。

今後益々の盛工の活躍を御祈念申し上げ、支部活動報告とさせていただきます。

支部長　高見幸夫（建築五〇年卒）

寿広支部

支部活動報告

幹事　笹野祐介（工化H14年卒）

今年で13回目を数え、7月8日（金）に鶯宿温泉「寿広園」にて盛大に開催されました。懇親会では、和やかに楽しいひと時を過ごしました。同じ会社とはいえ、部署が異なり普段は会う機会が少ない先輩方、後輩たちと会話を楽しむうちに、改めて母校に対する思い、素晴らしさを再確認できた時間をなりました。

そして新たに今年も2名のメンバーが仲間に加わりました。現在、支部同窓会会員数は社外会員様を含め37名になりました。これからも一人でも多くの仲間の輪を広げてまいりたいと思います。

今年は昭和45年以来の岩手国体が開催となります。母校の生徒の中にもたくさん岩手代表として協議に参加される方がいると思います。盛工のPRIDEと自分が岩手代表なんだということを胸に刻み、精一杯楽しんできてください。私たちも精一杯応援しています。

会長　菅原廣耕（工化四六年卒）

盛岡広域消防支部

平成二十七年度盛岡広域消防支部会総会報告

事務局　工藤直貴（土木H14年卒）

当会の総会は平成28年2月15日（月）、16日（火）の2日間に渡って盛岡市菜園の三寿司で開催されました。当支部は平成27年度末で51名の会員が登録していますが、年々、採用される同窓生は減少しており、現在は2～3年に1名の採用にとどまっています。

総会では、前年度予算の承認、次年度予算案の承認及び新年度役員の改選等、滞りなく行われ、懇親会へと移行しました。

懇親会では、当時の盛工の様子やクラブ活動の活躍ぶり、現在の高校の状況など、話題が尽きることなく、まもなく定年を迎える諸先輩方から、採用間もない若手まで、職場が違い初めて対面する方々もおりましたが、交流の輪を深めることができました。

当支部が所属する盛岡地区広域消防組合は職員数500名を超え、職場以外で親睦を深める機会は少なく、このような会は貴重であり、次回も多数の参加を願ってやみません。

今後益々の、盛工生の活躍を祈念申し上げ、支部の活動報告といたします。

支部長　田村　修（機械五〇年卒）

花巻支部

平成二十七年度花巻支部総会報告

事務局　鎌田充彦（建築科H11年卒）

花巻支部の総会は、平成27年11月27日（金）市内のホテル花城において、開催されました。

前年度決算並びに本年度事業計画等が満場一致で承認され、また役員改選案では、新しく事務局に鎌田充彦（建築科平成十一年卒）を加え、事務局の強化を図り、花巻支部を盛り上げていきたいと考えております。

懇親会へと進み、思い思いの話に花を咲かせ、近況報告では、一級建築士合格や転職し新しい職場となった報告に、お祝いの言葉や拍手が送られ、大変な盛り上がりとなりました。当支部は、とりわけ目立った活動をしているわけでもなく、それだけにある意味中身の濃いものと言える気がしております。私自身も盛工生であることの誇りを持ち、同窓会員相互の絆を深めつつ広げていけるよう努めて参りたいと思っております。

百年を超える盛工の歴史を、同窓生の皆様と、これからも絶えずつないでいきたいと思います。

支部長　鎌田慎一（建築四三年卒）

仙台支部

副支部長　阿部　明（機械38年卒）

昨年度は多くのイベントを計画するも、五月のパークゴルフ、九月のゴルフ、そして七月のビアパーティ等が雨でもろくも流され、悔しい思いをした為、今年こそはと意気衝天するも五月のパークゴルフは各人の都合がつかなくなり、六月のゴルフは又も雨で流されてしまいました。

その反動か紅稜会（役員会）の回数が若干増へ、そして中身（飲食物）にも力が入ってきたと思うのは私だけかな？

しかし今年度の終盤戦は九月末のパークゴルフ、十月末の「宮城の集い」そして十一月末の泊まり紅稜会を松島で開催し、最終イベントを楽しく飾りたいと役員一同頑張っております。

支部長　藤澤達郎（電力三八年卒）

東京支部

事務局　鈴木正敏（普通36年卒）

九月二十五日（日）恒例のラングウッド展望室にて、母校から眞岩校長、吉田同窓会長、白根体育後援会長、滝浦ラガーOB会長、川村桐友会長を御迎えして、菅田修氏の司会で開催。黙祷の後、山崎支部長より、平成生まれで平成卒業の井旗亮氏が参加し、昨年より4名の増加と喜びの挨拶が有りました。

事務局から一年間の盛岡会、県人会への多々の行事参加報告。十二林会計担当報告。玉山会計監査報告など全て承認されて無事に総会が終了。

懇親会では、眞岩氏から盛工校風の質実剛健が本当に各方面にて肌を通して感じた喜びを語りました。

来賓の方々各氏の挨拶はでは、本年度ラグビーは三校の争い。野球は花巻東校を破った事など、その他の運動部の活躍を報告して私達昭和30年代のスポーツ強豪回復を期待できる様子を感じました。

乾杯の音頭は、昭和十八年卒の江刺琢磨氏で、昭和、平成の年令の集まりが同窓会の良さを感じました。

袴田あじさい会は、神太郎氏の3度の公演を観照しました。隅田川の花火大会も晴天中、スカイツリーの横に花咲く2万発の花火と爆音の下で、家族参加の宴会を楽しんでます。

毎年七月末の土曜日ですので事務局へ一報下さい。御案内状を送付します。

支部長　山崎重人（普通四一年卒）

同窓会

平成28・29年度役員
（○は会・支部代表）

【顧　問】
久慈　次男（建築17年）
眞岩　一夫（学校長）

【会　長】
○吉田　昭夫（土木27年）

【副会長】
○金谷　栄治（工化28年）
浅沼　信一（定機36年）
○川村　博昭（普通37年）
鷹羽　金司（建築47年）

【常任理事】
機友会代表
○竹田　浩久（機械48年）
二日会代表
○鷹羽　金司（建築47年）
擬宝珠会代表
武田　太一（土木32年）
桜化会代表
佐藤　哲（工化35年）
桐友会代表
岩井澤昭一（普通34年）
桐美会代表
畠山　眞（デザイン56年）
E友会代表
○安部　司（電力37年）
電子科代表
佐藤　和司（電通37年）
市役所支部
○高見　幸夫（建築50年）
仙台支部
○藤澤　達郎（電力38年）
東京支部
○山崎　重人（普通41年）

【監　事】
鷺　孝雄（普通41年）
小山田正敏（土木42年）
滝浦　輝雄（工化44年）

体育後援会

（＊は同窓会役員と兼務）

【顧　問】
＊眞岩　一夫（学校長）

【参　与】
＊佐々木正孝（工化27年）
小川久太郎（建築31年）

【会　長】
＊白根　敬介（土木41年）

【副会長】
渡邊　力（建築31年）
＊上原　充郎（普通36年）
中里　哲夫（工化47年）
横澤　高徳（機械H2年）

【理事長】
川村　英二（建築H11年）

【常任理事】
＊武田　太一（土木32年）
＊浅沼　信一（定機36年）
下向　均（建築48年）
＊山口　正行（副校長）
＊小林　俊博（生徒部長）

平成28年度会・支部代表

花巻支部
鎌田　慎一（建築43年）
寿広支部
菅原　廣耕（工化46年）
盛岡広域消防支部
田村　修（機械50年）

ご逝去のお知らせ

元母校校長　木皿欣一氏　ご逝去

去る八月二十一日、第二十一代校長木皿欣一氏が八十九歳で他界されました。

昭和五十九年から五年間、校長として母校の発展のため尽力されました。

ここに、生前の御功績をしのび謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

平成28年度盛工同窓会事務局

事務局長　佐々木大祐
事務局次長　新里　善徳
体育後援会理事長　川村　英二
事務局
小野寺　稔　中井　忠則
藤澤　秀明　角　清一
小原　義巧　中嶋　将太
吉田　大地　稲生　太貴
舘澤　文枝